

~~修正済~~

AR 台本

製作

SUNRISE
バンダイビジュアル

THE 境界線

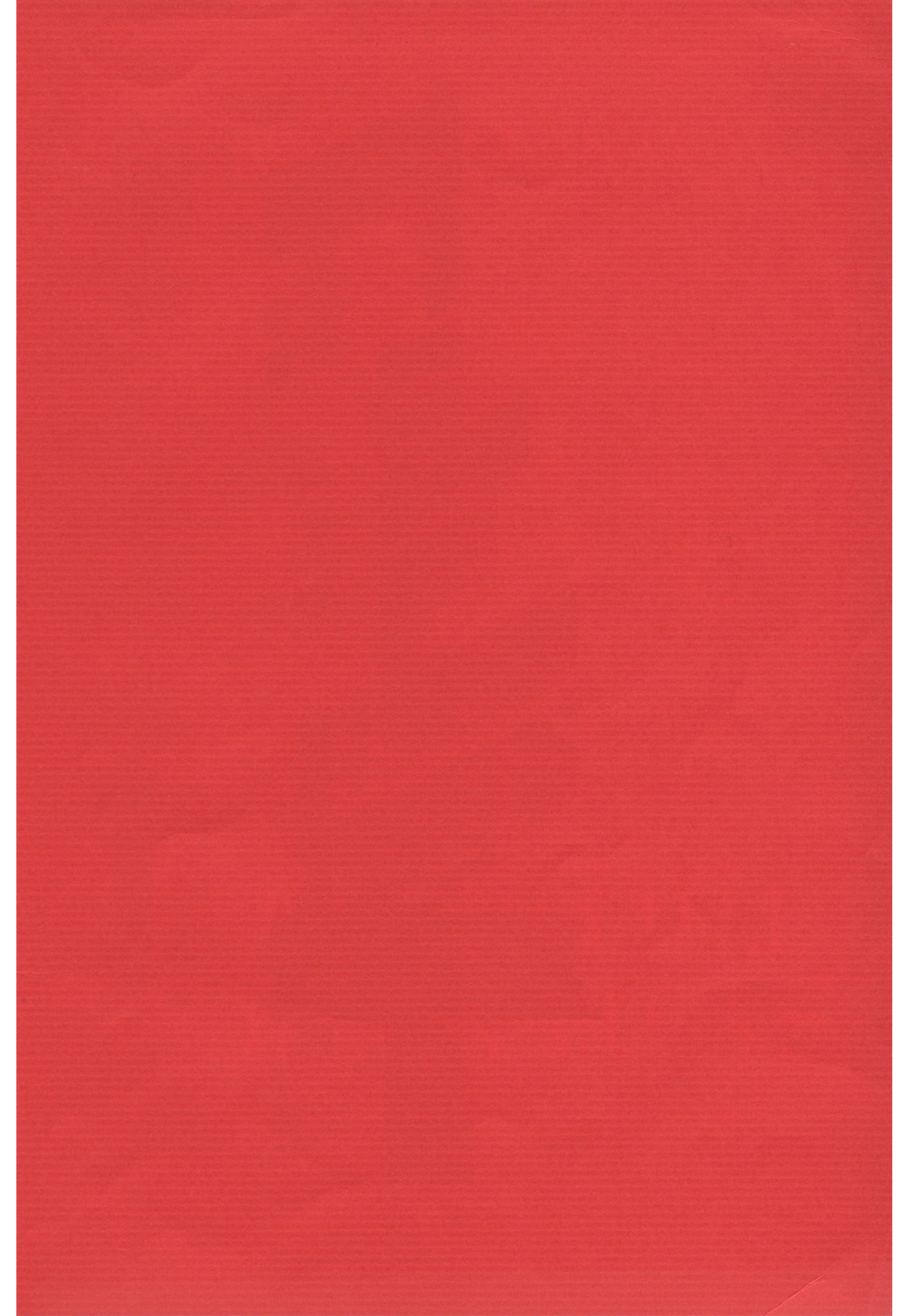
45

ACT:23

Twisted Memories

注意

サンライズアニメ制作資料です。
無断で複製、有償・無償譲渡、貸与、
交換等した場合は、法律により罰せら
れる場合があります。



『神の名においてこれを鑄造する。汝ら罪なし』

〈12世紀のドイツの死刑執行人達の刀剣に刻まれた文字より〉

音響効果	庄 司 雅 弘 (フィズサウンド)
録 音	はた しょうじ
録音スタジオ	スタジオごんぐ
音響制作	楽 音 舎
音響制作担当	杉 山 好 美

ビデオ編集	キュー・テック
-------	---------

制作デスク	田 村 一 彦
アシスタントプロデューサー	石 川 達 大
プロデューサー	杉 田 敦
	内 田 健 二
	大 橋 千 恵 雄

THE 龍騎

ACT: 23

Twisted Memories

脚 本	小 中 千 昭
絵コンテ	西 澤 晋
演 出	喜 多 幡 徹
キャラ作監	
メカ作監	伊 藤 浩 志
制作進行	福 嶋 清 佳



ACT: 23

Twisted Memories

編 者 小 木 本 編
監 修 中 野 浩 三
監 修 中 野 浩 三
監 修 中 野 浩 三
監 修 中 野 浩 三
監 修 中 野 浩 三

C A S T

ロジャー・スミス	宮 本 充
R・ドロシー	矢 島 晶 子
エンジェル	篠 原 恵 美
ノーマン	清 川 元 夢
ダン・ダストン	玄 田 哲 章
アラン・ダイブリエル	
ゴードン・ローズウォーター	石 塚 運 昇
アレックス・ローズウォーター	石 塚 運 昇
ヴェラ	
ジェイソン・ベック	
エンジェルの母	
部 下 ①	
部 下 ②	

画 面	音 声
1 F I 暗闇に降る雪 T B 窓ガラス越しの風景	(S E) (風音・ガラス戸の鳴る音) ←
2 マキストーヴの上 鍋が湯気を上げています	(S E) パチパチパチ ← (SE) コトコトコト
3 エンジエルの背中の傷跡を なでる母の手 I N	母 (off) 「お前のこの背中のアザはね：お前が 天使の生まれかわりだという印なん だよ」
4 反応するエンジエル(子供) かぶせられるシュミーズ	
5 背中の傷跡を隠す	
6 着せ終わると振り向き、髪 をかき上げるエンジエル 両肩に手を置く母	母 (音) 「お前はきつと幸せになる。そう信じ てなさいね」

13	12	11	10	9	8	7
その引き	今いる場所を思い出すエンジェル 寒気に両肩を抱いて立つ	柵なめ通過して行く車	光源の移動と共に影も移動	目を細める OL	?となるエンジェル 強いライトがエンジェルを照らす	何かを話す母の口元 しかし、声は聞こえない
		グオ ン、グオ ン	← ← ← ← ←		(SE) (車の音)グオ 	母 「翼をもがれた鳥は、すべての羽根が 抜け落ち、己が鳥へと進化する以前の 獣へと戻る」

18	17	16	15	14
<p>アランの前方に立っている ヴェラ PAN</p>	<p>アラン ニツとなる</p>	<p>ガラスをふみつつ来るア ランの足</p>	<p>グラントセントラル駅 破れた天井から差し込む光</p>	<p>歩いてくエンジェルの背中 手前を車が通り過ぎる 前方へ歩いてくエンジェル</p>
<p>ヴェラ 「ここにいた同胞の殆どは、ローズウ オーターの息子に捕えられてしまっ た。私が成果を上げた印を打ち上げ られずにいたが為！」</p>	<p>アラン 「フ：アレックスの首にはいつだって ナイフを突きたてる事が出来るさ」</p>	<p>に ← ヴェラの声 「身も心もローズウオーターの息子</p>		

26	25	24	23	22	21	20	19
ア ラ ン	ヴ エ ラ	ア ラ ン な め ヴ エ ラ	ヴ エ ラ な め ア ラ ン	俯 瞰 無 言 で 対 峙 す る 二 人	顔 を 上 げ る ヴ エ ラ	ア ラ ン	ヴ エ ラ
						ア ラ ン 「メモ リ―は ―、無 いん だ。最 初か ら」	ヴ エ ラ 「ユニ オンは メモリ ―をあ きらめ ず、こ こを予 め不毛 の土地 であつ た事に する」

32	31	30	29	28	27
<p>回想・ロジャー邸 エンジンとロジャー</p>	<p>上昇していく赤い風船</p>	<p>セントラルステーション外 観 P U 二つの銃声がダブる 風船がフワツと上昇</p>	<p>銃を突きつけ合ったままの 二人</p>	<p>銃を抜くアランの手</p>	<p>銃を抜くヴェラの手</p>
<p>エンジン「アレックスが探し求めているメモリー、この世界の中でこの街にだけ遺されているメモリー、——。アレックスに絶対に奪われないで」</p>		<p>(SE) ダーン、ドドーン</p>	<p>ヴェラ 「アデュウ：（さよなら）」</p>	<p>(SE) ジャキツ</p>	<p>(SE) ジャキツ</p>

40	39	38	37	36	35	34	33
楽譜	ピアノを弾くドロシー PU	目を閉じるロジャー OL	回想・エンジェル	手元を見つめているロジャ ー	ピアノを弾くドロシー	ロジャー邸居間 ピアノを弾くドロシーとソ ファーに座ってるロジャー	ピアノを弾くドロシーの手
	(off) それを強く求める者達… ←	ロジャー「メモリ… (こぼし)」 ←	エンジェル「そして：アレックスでない、それ を狙っている者達からも… ←	ロジャー(M)「エンジェルがドロシーに託した私 への伝言…」			
	← 私はこの街で記憶を失わせた何かを 〜						

48	47	46	45	44	43	42	41
振り向き、微笑むロジャー	ロジャー　　テーブルを見た まま	演奏を止めて見るドロシー	グラスを置いて立ち上がる	グラスのブランデーに映る ロジャー	震える弦	ピアノを弾くドロシーの手	ペダルを操るドロシーの足

甦らせる者達と戦って来た。私自身もまたメモリーによって、単にロジャー・スミスという役割をパラダイムシテイという舞台の上で演じているだけでしかないのだろうか：

← ← ←

ドロシー「ロジャー？」

ロジャー「伝言は確かに聞いたが、交渉の依頼としては詳細が不十分だ。やはり私が直接聞くべきだ。」

←
そう思わないかね？　ドロシー

56	55	54	53	52	51	50	49
橋をわたる一台の車	刑務所	見つめ合う二人 突如、雷光	ドロシーの目元	ロジャー 優しく微笑む	ドロシーの口元	ロジャー 目パチ	ドロシー
			ドロシー「それじゃいけな いの、私は…」	ロジャー「ときにはそういう時だってあるさ…」	ドロシー「私は、ノーマン に嘘ついたの…」	ロジャー「？」	ドロシー「ロジャー…あの人は…」
ゴロロロロ ←	(SE) ゴロロロ ←	カッ ←	(SE) (雷) ゴロ ロロ		←	ゴロ ←	

57	58	59	60
<p>ふて寝しているベック 時折、雷光が差し込む</p>	<p>外の音に顔を上げるベック</p>	<p>ベックの主観・独房の入口</p>	<p>5枚の扉が次々に開く 開ききると入ってくる刑務官 直立不動で誰かを待つ 入って来るアラン 少し遅れて刑務官② I N</p>
<p>ベック 「まったくよう：天才的頭脳を持つ、このオレ様の働き盛りの時を、こんな穴蔵で浪費させるなんて、オレ様の手がけて来たどんな仕事よりも犯罪的だぜ：」</p>	<p>(SE) (作動音) ウイーン <u>ベック</u> <u>ア</u> <u>レ</u></p>	<p>(SE) カチ！ グイ——ン</p>	<p>(SE) グオーン、グオーン、グオーン、グオーン、グオーン、グオーン 「メシはさつき喰ったばっかだぜ」</p>

66	65	64	63	62	61
何となるベック	銃を構える刑務官 アランは一向に動じない	ベック 怒り、立ち上がる	笑ったままのアラン	不機嫌なベック	ベックの太ももなめ入口に 立つアラン 起き上がるベック
	アラン (SE) ジャキーンジャキーン 「それを有益なものだと考えるお方がいるのだよ」	ベック (off) ほんの僅かに残されているメモリー ：それは、お前が才能と呼ぶモノ… 「何だとしてめェ!!」	アラン (off) 「憐れな犯罪者であるお前に	(on) あいさつすんなら	アラン 「これがジェイソン・ベックか…クク ベック(背) 「なんだお前… ククク…」

73	72	71	70	69	68	67	
アレックス 誇りを込めて	ゴードン 振り返らず	乗り出すアレックス	風景を眺めているゴードン	丘をPAN ローズウォータ―親子が立っている	黄金色の麦	青空を流れる白い雲	再び雷光
アレックス「僕はあなたの息子で、パラダイムコーポレーションを統率している」	ゴードン(潜)「君は何をして日々の糧を得ているの だ か? ここで汗を流す人生も、また嬉しいものだよ」	アレックス「パパ! 僕が聞きたいのは」	人の知恵と労力が加わることで、成される奇跡なのだよ」	塩をかけて育てた作物の熟成は、自然の摂理にほんのすこしだけ	ゴードン(off) (on)「(先行) 収穫の時は近い。手		ベック 「!？」

79	78	77	76	75	74
ハツとなるアレックス	振り向くゴードン 微笑み	遠くまで続く並木道	巨木の下で話している農夫	二人の上にカゲがかぶる	肩をおとすアレックス 小さなため息
アレックス「……」 <small>(off)</small> 私の息子だね……	ゴードン「君は……」	ドームをパパが築く以前の記憶をすべて墓場に持っていくのはやめてほしい……	アレックス <small>(off)</small> 「それでもいい……パパの記憶の奥底に何かがあるのか……」	僕のことを一度もただの一人の息子だと抱きしめてくれた事も無かった……	アレックス「……」 パパ…… ゴードン「この収穫物は出来るだけ多くの食卓に並ぶことが望ましい」

85	84	83	82	81	80
<p>雲のカゲ、晴れる</p> <p>アレックス</p> <p>ゴードンを抱きしめている</p>	<p>ゴードンに迫るアレックス</p> <p>そっと抱きしめる</p>	<p>持ち上げたままの手</p> <p>そのまま前進する</p>	<p>絶望感に打ちひしがれるアレックス</p>	<p>何かを期待するアレックス</p> <p>ゴードン 正面を見て一人言を言う</p>	<p>アレックスなめ見つめているゴードン</p>
<p>アレックス「僕はパパを愛してるよ……」</p>			<p>アレックス「……」</p>	<p>アレックス「……」</p> <p>ゴードン「君たちは皆、我が愛すべき息子や娘達だ……」</p>	

92	91	90	89	88	87	86
ロジャーなめダストン	ロジャー ダストンの肩なめ見ている	ダストン 少し目を細める	めぐられるリスト エンジエルの写真が現れる	ダストンの脇に立っている ロジャー P A N	手 ダストンの部屋 リストをめくるダストンの	軍警察本部
ダストン「川底を通るトンネルの検問で、不審					ダストン(off)「リストにあげられた者で、未だ居場所が特定出来てない者はもうあとわずかだ」	

99	98	97	96	95	94	93	
目にバーコードが入った子	表情がひきつっているロジヤー	見開く目の中にバーコードフラッシュIN	バーコードのUP	エンジェルの写真下のバーコード	見つめているロジヤーハツとなる	エンジェルの写真	
	ロジヤー「…!？」					(off) 今、そこは封鎖している	な女を見かけたという報告があった : ←

1 06	1 05	1 04	1 03	102	101	100	供達
崩れるロジヤーの足元 写真立てが落ちてガラスが 割れる	ブラインドにしがみつくも すべるロジヤーの手	不気味なムードで立ってい る	麦畑 P A N ポツンと一人いるゴードン	ロジヤーの目UP	子供達の後 男のシルエット	ひきつるロジヤーの顔	
(S E) ガチャーン	(S E) ← ビビビビビビ						

1 12	111	1 10	109	1 08	1 07
ロジャー	ロジャーの手に少し力入る	ダストーン ゆっくりと重く語りかける	止まるロジャー	呼び止めるダストーン 立ち、ドアに向かうロジャー	驚き立ち上がるダストーン こらえているロジャー
ロジャー(背)「そういう時が来るのを、私も願っているさ」	(off) 飲みたいものだな	ダストーン「いつか：またいつかお互い暇が出来たら、お前さんのとこの暖炉の前で、		ダストーン「お前：」 ロジャー「心配するな」 ダストーン「ロジャー：」	ダストーン(背)「ロジャー!?!」 ロジャー「何でもない：」

119	118	1 17	116	115	1 14	1 13	
黙って見つめるゴードン	インサート・燃える麦UP	麦畑の丘に立つゴードン 背後に黒煙	雲が流れる青空に黒煙	割れた写真立て	しばらく見つめるダストン ふっと脇に目をやる	ダストンなめ閉じられるド ア	言ってドアを開ける
						(SE) ボタン	

1 25	1 24	1 23	1 22	1 21	120
落ちる目隠し 顔上げるベック	ベックの後ろで凶器になる アランの手 ベックの目隠しを切る	追われて来るベック 手すりにぶつかって止まる	運転しているアランと目隠し されているベック アラン 右手でつつく おそるおそる下りるベック	地下工場・止まるカートの 車輪	畑のあちこちから煙 PAN
ベック 「——！」	(SE) チャキーン				

1 34	133	1 32	131	130	129	128	127	126
ベック 驚きと怒り 体ごと向き直る	ニヤリと笑い返すアラン	ニヤリとアランを振り返る	大げさに柵からとび離れる	うれしくなるベック	そびえ立つ2体の巨人	ファウのUP	デュオのUP	驚き喜ぶベック 乗り出し
ベック 「——!! 何だとオ!?!」	アラン 「取り引きなど無い」	オレ様と一体、 どういう取り引きを したい?」	ベック 「——で!	ベック 「へへへへ……」				ベック 「すっげェ!!」

141	140	1 39	1 38	1 37	1 36	135
ベック	カチューシャが出る	回想・ドロシー1の顔にセツトされたR・ドロシー	アランを見るベック ニタリと笑うアラン ムツとなるベック	ドラ コクピットなめ止まるゴン	ファウへ上昇して行く二人	ボタンを押すアランの手
			ベック アラン		アラン	
			「インターフェイス！ そうだな」 「お前は姑息な方法で、それを解決したことがある」	だが一点だけ復元できないところがある	「ビッグファウは、あちらこちらの遺跡から発掘したパーツで復元された。」	

1 44	1 43	1 42
<p>大袈裟にアランに 虚勢をはる</p> <p>無反応のアラン 淡々と</p> <p>ベック ブチ切れて 胸ぐらを掴む</p>	<p>ベック 一人言の様に語り 叫ぶ</p>	<p>左右の手を動かして攻撃を しかける</p>
<p>ベック</p> <p>「くだらねエ！ 同じ犯罪を繰り返さないってのが俺 の美学よ」</p> <p>アラン(背) 「同じことをしろとは言わない。より 効果的な方法があるはずだ。パラダ イムコーポレーションは貢献的な仕 事をした者には、相応の報酬をあた える」</p> <p>ベック 「だれがお前の為にそんな事するかよ ！」</p>	<p>ベック</p> <p>「オレは： 俺の中のメモリーがそうすればいい って、俺におしえてくれたんだ： それを、またやれだど？」</p>	<p>ベック</p>

150	1 49	1 48	1 47	1 46	1 45
ハーブ橋のワイヤー	上目づかいに睨むベック	俯く 一言も返せないベック	威圧的に立つビッグファウ	愕然となる 書いてある文字を読む	懐から紙を取り出すアラン ベックの顔前につきつける
	ベック 「（小声）てめエ ……」 （笑いこぼし）	ベック アラン 「く……」 「——もう、準備はしてある。一緒に 来るかい？ くくくつ」 ←	アラン 「パラダイムシテイの法は、パラダイ ムコーポレーションの厳正なる判断 によつて可塑的にある」	ベック 「——？ ……」 死刑執行命令書オー！！	

1 57	156	1 55	1 54	1 53	1 52	151
一瞬ライトに照らされて あつという間に流れて行く	ロジャー	トンネル内を走るグリフォ ン	トンネル入口 グリフォンが入ってくる	川底を通るトンネル入口 グリフォンIN	車内のロジャー	走るグリフォン
		ロジャー(M)「私には私の意志があり、私には私のすべき事がある。」		← 私とは作爲的にこの世界に存在させられている、トマトのひとつでしかないのだとしても——」	ロジャー(M)「私の眼の中に、あの縞模様が刻まれているのだろうか。」	
	← そして君にも……」					

1 63	162	161B	161A	160	1 59	1 58
尻、マントの人物の消えた ロジャーIN カドを曲がるマントの人物	走って来るロジャー	ロジャー 手前からIN	駆け出すロジャー	人影が側道へ入っていく	車が横滑りして止まる ロジャーが出てくる	ブレーキをふむロジャーの 足
		ロジャー (off) 「エンジェル!!」	ロジャー 「エンジェル!!」			

170	1 69	168	167	166	165	164	
激しく燃える麦 P A N	農夫が倒れ、車が燃えている並木道	麦の間に転がっている藁莢	更に別の人	倒れている農夫	倒れている農夫	炎を上げて燃える麦畑 P A N	方を見る
(S E) ゴオオオオ							

178	177	1 76	175	1 74	173	1 72	1 71
聞き入るアレックス PU	ふるえるピアノの弦	レコードプレーヤーなめアレックス	ピアノを弾くドロシーの手	アレックス邸・中庭 回るレコード	ゴードンUP	ボートと立っているゴードン	燃えている巨木 小屋が崩れ落ちる
							(SE) ゴオオオー

テレコ

1 85	1 83	1 84	1 82	1 81	180	179
アオリ 換気筒 巨大な羽根がまわっている	露地なめサソリ型メカが移動して行く	シ 何かの気配に振り向くドロ	シ 弾き終えて顔を上げるドロ	る音 通りの向こうから大群の迫	アレックスの頬を涙が伝う	ペダルを踏むドロシーの足
(SE) ゴウンゴウンゴウン	(SE) ドロドロドロドロドロ			(SE) ドロドロドロドロ		

1 92	1 91	190	189	1 88	1 87	1 86
ロジャー 驚きと好奇心 何かに気付く	少し身を引くロジャー 向き直るヴェラ	振り向くコート的人物	緊張するロジャー	コート的人物	筒の前に立っている人物 階段おりてくるロジャー	換気筒底部 入口に立つロジャー
ロジャー 「では——、君も異国から来た： !!」	ロジャー 「——!!」 ヴェラ (潜) 「心を惑わせ同胞を欺いた我が友人に、 伝言を頼みたい」		ロジャー 「!!——、誰だ」	ヴェラ (潜) 「やっと会えた。ビッグオーのドミナ ス……」	(潜) 君じゃないのか？ ← ←	ロジャー 「エンジェル……？」

1 97	196	1 95	1 94	1 93
<p>ヴェラの口元</p>	<p>微笑むヴェラ</p>	<p>アオリ 回転する羽根</p>	<p>俯瞰 回転する羽根なめ対峙する二人</p>	<p>腹部をおさえているヴェラの右手</p>
<p>ヴェラ 「翼をもがれた鳥は、全ての羽根が抜け落ち、己が鳥へと進化する以前の獣へと戻ると」</p>	<p>ヴェラ 「伝言を伝えてほしい」</p>	<p>ロジャー (off) 「パラダイムの外で生きて来た君達ユニオンの事か」</p> <p>(off) 忌わしき海のレヴィヤタン、陸のベヒモス</p>	<p>ロジャー 「!? 何だって？」</p> <p>ヴェラ 「この世界の創造主という存在がいたとして、パラダイムの土地に生まれた者だけに生きる権利を与えたのではない筈。」</p>	<p>ヴェラ (off) 「(少し痛みこらえて) ……ベヒモス」</p>

204	203	2 02	2 01	2 00	199	1 98
スイッチを踏むヴェラの足	微笑むヴェラ	焦るロジャー	ラ 発射筒のワイヤーなめヴェ	止めようとするロジャー	足をずらすヴェラ	乗り出すロジャー ハツとなる
(SE) カチ!		ロジャー (off) 「この地を再び業火で焼き尽くす」 「なっ、何を——」	ヴェラ 「未だ見ぬ遠くの同胞たちに、隠されたメモリーの在処を知らしめ、	ロジャー 「待て！ ユニオンは一体何をしよう としている!？」		ロジャー 「どういう意味だ！」

211	2 10	2 09	2 08	207	206	205
邸前に終結しているメカ	露地なめ通過していくサソ リメカ	四つの光なめパラダイムシ テイ 俯瞰	上昇する光弾 上空で破裂すると強力な火 を放つ	同	射出される光弾	四本の筒が何かを発射
	(S E) ドロドロドロ		(S E) ドポポポポン	← ←	(S E) スパパパ ン	(S E) ズドバ ン

225	224	2 23	222	2 21	2 20	
登って行くメカ	屋上に飛んでいくワイヤー	メカの一部が開いて ワイヤーを撃ち出す	叫ぶロジヤー	時計UP	壁に手をかけて立つロジヤー 一息つく そこへコールサイン 応答するロジヤー	煙はれると巨大な羽根が落ちている
		(SE) カチャカチャ ププシュ	ロジヤー「なんだと!？」	ノーマン(off)「ロジヤー様、お屋敷が何物かの襲撃を受けております」	ロジヤー「……」 (SE) ピピピピ ロジヤー「どうしたノーマン」	

232	2 31	230	2 29	228	2 27	226
左見るカメラアイ	動くメカが目 いきなり銃撃をくらい大破	屋上・上って来るメカ	動く レリーフ内のカメラアイが	マシンガン出て来る	装甲シャッターの閉まった ペントハウス P A N 煙突の一つが開く	外壁を登って行く
	(S E) (S E)		(S E)			
	ドドドド ピピピピ		ジジジ			

239	2 38	237	2 36	2 35	234	2 33
車内モニター・ノーマン	トンネル内・走るグリフォン	疾走するグリフォン	落下するメカ 続々と後続が登って行く	次々と登って行くメカ 大破した固体が落下	撃ちまくるマシンガン	正面に向かって来るメカ 即被弾、大破。
(on)	どこまで堪えられるか…	ノーマン (無線) (off) 「現在のところ ← 迎撃システムで凌いでおりますが、 敵の数が特定できず ←	(SE) ガシャーン		← ← (SE) ドドドドドドド	

244	2 43	24 2B	24 2A	241	2 40
<p>撃ち落とされるメカ</p>	<p>屋上から撃ち落とされるメカ PAN 続々と登ってくる</p>	<p>空中にジャンプするグリフォン</p>	<p>ジャンプして来るグリフォン</p>	<p>踏み込むアクセル</p>	<p>考えるロジャー TU 何かの予感にハツとなる</p>
<p>← ← ← ← ←</p>	<p>(SE) ドドドドドドドド</p>	<p>ロジャー(off)「ノーマン！すぐ戻る!!」</p>			<p>ロジャー「(呟く) 目的は何だ…。この私を何故狙わない!!」</p>

2 51	2 50	249	2 48	2 47	2 46	245
尻、カメラアイを壊すメカがIN	鋭いツメでカメラアイを壊すメカ	エツとなるノーマン	モニター・上方より覗き込むメカ	コントロールを動かすノーマン	パネルを見ながらグリップを動かすノーマン	再び正面をむくマシンガン
(SE) ガチャーン、ガチャーン	(SE) ガツシャーン	ノーマン「!？」				←

258	2 57	2 56	2 55	2 54	2 53	252
暖炉の煙突を壊すメカ	続々と侵入してくるメカ達 砕かれる家具	ピアノを踏み砕いて行くメカ	リビングに進入するメカ 続いてもう一台進入、ピアノにぶつかる	穴が開いて行くシャッター 尻、突入してくるメカ	粉碎されるマシンガン その間を通過するメカ	乱射しながら迫るメカ達
(SE) バゴーン	← ← ← ←	(SE) バアーン、キーン、グワーン	(SE) ガツシャーン、ドーン		← ← ←	(SE) ドドドドドド

2 64	2 63	2 62	2 61	260	2 59
<p>見るダストン</p> <p>ダストン達なめドーム</p>	<p>見つめているダストン</p>	<p>ハイウエイ</p> <p>緊急車両のランプで一杯の</p>	<p>煙をくすぶり出しているドーム</p> <p>P A N</p>	<p>階下への階段へ向かうメカ</p>	<p>部屋のドアを壊し、中をうかがうメカ</p>
<p>部下② (off)</p> <p>「ダストン大佐！」</p> <p>←</p>	<p>ダストン</p> <p>「消火要請が来るのが妙に遅かったのが気になる！」</p> <p>←</p>	<p>外への延焼は食い止められそうです</p> <p>が……」</p> <p>←</p>	<p>部下① (off)</p> <p>「消火システムは原因不明の故障で機能していません。」</p> <p>←</p>		

2 70	269	2 68	2 67	2 66	2 65
二匹目、銃撃を受けてボロ ボロになる 三匹目が I N	撃ちまくるノーマン	マシンガンを撃っているノ ーマン かく坐するメカ	階段を降りて来るメカ 銃撃うけて壊れる	ダストン ハツとなる	警官 叫んでいる
	(S E) ドドドド		(S E) ドドドド	ダストン 「どこだ？」 部下② (off) 「アウトオブドーム72番街」 ダストン 「72 : : ロジャー・スミス！」	(on) 不法移住区で武装集団が火器による 襲撃を行なっています！

2 77	2 76	2 75	2 74	272	
PD 吹き抜け空間・銃声が響く ややあつて爆発音	廊下を走って来るノーマン ランチャーを手に取る	シヤッターに着弾 出入口にシヤッターがIN マシンガン撃ちまくるメカ 外に出るノーマン シヤッターに挟まれもがく メカ	ノーマン スイッチをON シヤッターがメカを床にたたきつける	冷静に立ち上がるノーマン	そのまま天井をはって来る
(SE) ダダダダダ ドオオオン	← ← ←	(SE) (SE) ダダダダ カンカンカン 	(SE) ガイーン ガガーン		

2 83	282	2 81	280	2 79	278
爆発 ロジャー 邸内・おどり場で	叫ぶロジャー	T U 腕時計かまえるロジャー	爆走するグリフォン	P U. 飛び出し、降り立つと ダッシュして走り去る ビッグオーの目光る	顔上げるドロシー
(S E) ドカ——ン	アクション!	ロジャー「ビッグオー」	(S E) ドオオオオ	(S E) ドオオ——ン、ドオオ——ン	ドロシー「ノーマン！」

OL

←

2 90	2 89	288	2 87	286	285	2 84
属音 トリガーを弾くが空しい金	フフン！と笑うノーマン ランチャーを構える	所在なく手を動かすメカ	ノーマン 狙いを修正して 二発撃つ 飛んで来る破片	落下して行く空薬莖と破片	おどり場の上のメカ、被弾	ランチャー構えるノーマン。 尻、更に撃つ
(SE) パキン！		(SE) ウイーウイー	ノーマン「ええい！」 (SE) (ランチャー) ドウン！ (SE) (爆発) ドカ——ン (SE) (ランチャー) ドウン！		(SE) ドカーン	(SE) ドウツ！

2 97	2 96	295	2 94	293	292	2 91
<p>ノーマン のほほんと</p>	<p>バケツにマガジン入れて持 つドロシー</p>	<p>ドロシー</p>	<p>ノーマンの手元に飛び込む マガジン 階下を見るノーマン</p>	<p>飛んで来るマガジン</p>	<p>さぐるノーマンの手</p>	<p>「おっ」とボルトを見る スペアを取ろうとし慌てる</p>
<p>ノーマン「すまないね。歳はとりたくないもの です</p>	<p>ノーマン (off) 「ドロシー！」</p>				<p>(off) しまった：私としたことが</p>	<p>ノーマン「——！」</p>

304	303	3 02	301	3 00	2 99	2 98
ハッと振り返るドロシー	叫ぶノーマン	P U 宙ぶらりんになるノーマン 上方にドロシーの姿	途中の梁にからむアンカー	落下しながらアンカー射出 するノーマン	爆風で転がり落ちるノーマン	銃口をメカに向けて 発砲 至近距離で爆発
	ノーマン「ドロシー、逃げなさい！」	ドロシー「ノーマン！」		ノーマン「くっ!!」	ノーマン「ぬおお!!」	(SE) (背) な! (強く) ← ドウン ドド——ン

310	3 09	3 08	3 07	306	3 05	
ドロシー	顔 壊れた壁からビッグオーの	壁にめり込んでいるメカ 見るドロシー	ドロシーに迫るメカ 壁を突き破ってビッグオー の左手 I N	バケツを落とすドロシー	尻尾を残して飛び降りるメ カ	後方にメカ
ドロシー「ビッグオー」			(SE) ズゴォー——ン ← ← ← ←		← ピピピピ	(SE) ピピピピ

317	316	3 15	3 14	3 13	3 12	311
頭に血が登るロジャー	手を上げて挨拶するベック	素速く降り立つロジャー 後方の人物に気付く PAN	急ブレーキ 止まるグリフォン	屋上・メカ達なめ来るグリフォン	ロジャー邸 PU メカが続々と登って行く	目を見はるノーマン
ロジャー「きさま…」	ベック「よお！」		ロジャー(off)「ドロシーだと!!」 (SE) ギギキキキキ	「ございます」	ノーマン(通信)(off)「ロジャー様、賊の狙いはドロシーで ←	ノーマン「おお…」

3 23	3 22	3 21	3 20	3 19	3 18
叫ぶノーマン ノーマンの周りにもメカが 囲む	魅入られているドロシー	ノーマンなめ見上げている ドロシー	梁によじ登るノーマン	メカ達を見つめているドロ シー	並んで共鳴音を出している メカ P A N
ノーマン「ドロシー！」 ノーマン「!?」	それがどれほどおぞましいものかす ら、私は知らないのに	ドロシー「みんな私の中の、私が知らないメモ リーを欲しがっている」。	ノーマン「ドロシー！ 早く逃げろ！ もう少 しでロジャー様も戻られる」	ドロシー「私は望まれているの：ドロシーI、 地下で腐っていたメガデウス、 イヤヤヤヤン——」	(SE) ピコピコピコピコ

3 28	3 27	3 26	3 25	324
<p>ベックを持ち上げて 投げ捨て、走り出す</p>	<p>軽蔑と怒りのロジャー そこへ大きな爆発音 ベックを睨むロジャー</p>	<p>言ってニヤツと笑う ベック しれっとして</p>	<p>メカからひきずり降ろす</p>	<p>ベックの胸倉掴むロジャー</p>
	<p>ロジャー「——！ た奴だ」 飼われたのか。見下げ果て (SE) ド——ン ロジャー !?! < { ヽヰヰ L</p>	<p>ベック 「オレはな、お前とあのクソなまいきなアンドロイドが大ツツ嫌いだ。だがな、お前を嫌ってんのはオレだけじゃなかったって事でね」</p>	<p>ロジャー「今度はどうやって脱獄した!? またドロシーを奪おうなど、なんて姑息な——」</p>	<p>ロジャー「ベック！」</p>

3 35	334	3 33	332	3 31	3 30	329
ノーマン 懐に両手を突っ込んで銃を抜く	天窓を破って降下するメカ	叫ぶドロシー	見降ろすメカ P A N	クシを通し顔上げるベック 遠くを見つめる目	見送るベック 立ち上がり、エリを直す 胸ポケットに手を伸ばす	走っていくロジャー
ノーマン 「くそつたれめが！」		ドロシー 「私は私！ あなたやロジャーとは違うわ！」 ノーマン 「何を言っているんだ、ドロシー」	(S E) ピコピコピコ	ベック 「…」	ベック 「ケツ…」	(S E) ド——ン

3 42	341	3 40	3 39	3 38	337	336
メカ 機械語を終えると 尻尾のハサミ持ち上げる	魅入られるドロシー	メカ ビッグオーの腕に降り立つ 目を光らせて機械語を話す	雨の様に降り注ぐ銃弾 手前を壊れたメカOUT	奥のメカがマシンガン撃つ 手前のメカの着弾、破壊	撃ちまくるノーマン	降下するメカ
(S E) ピピピピ…		(S E) ピピピピ ガイーン	(S E) カンカンカンカン	(S E) ドドドドド	(S E) ドウンドウンドウンドウン	

3 48	3 47	3 46	3 45	344	3 43
<p>上昇して来た二人 反動つけてとび移る 顔見合わせ</p>	<p>上昇しているロジャー、ノーマン</p>	<p>上昇してきたロジャー ノーマンと共に上昇</p>	<p>高速で上昇して来るロジャー</p>	<p>梁に巻き付くワイヤー</p>	<p>「ヤバイ」のノーマン ワイヤーが上昇、気付くノーマン</p>
<p>ノーマン「ロジャー様」</p>			<p>ロジャー「ドロシ〜、ノーマン!!」</p>		<p>ノーマン「!!」 (SE) ヒューーン ノーマン「あま〜ず〜」</p>

3 53	3 52	3 51	350	3 49	
<p>ロジャー達なめひき抜かれるビッグオーの左手入れ替わる様に右手、体が</p>	<p>叫ぶロジャー</p> <p>ビッグオーの目が光る</p>	<p>捕われのドロシー P U</p>	<p>駆けて来る二人</p>	<p>ドロシーを捕えたメカ 足からジェット噴射してホバリング</p>	<p>ジェット音と炎が IN 見上げる二人</p>
<p>(SE) ズガガガガ グワ——ン、ドオオオオ——ン</p>	<p>ロジャー「何を言っている!! あきらめるんじゃない!」 ロジャー! ビッグオー!!</p>	<p>ドロシー「私は私…。ロジャーとは違う。私はずつとこのままの姿、このままの心——」</p>	<p>ロジャー「ドロシー!」</p>		<p>ロジャー「ノーマン、大丈夫か?」 (SE) キ——ン</p>

3 60	3 59	358	3 57	356	355	354	I N
ビルなめ出て来るビッグオ	脇の壁が吹っ飛ぶ 去る 邸から出てくるメカ 飛び	手のぼし叫ぶロジャー T B	上昇していくドロシー 空をつかむビッグオーの手	叫ぶロジャー T B	もう少しで届きそうな手	俯瞰 手をのぼすビッグオー	
(S E) ドゴ——ン	(S E) ドゴ——ン	ロジャー「ドロシ——ッ」		(on) ← 自分で自分の運命をつかめ！	← 君の力なら、そこから羽ばたける。	ロジャー(off)「ドロシー！ 君なら逃げだせる！	

367	3 66	365	3 64	363	362	3 61
メカを追って飛ぶアンカー	アンカーを発射するビッグオー	ボタンを押すロジャー	ロジャー レバーを握る手に T U	ロジャーなめメカ	向き直るビッグオー	着地するビッグオーの足 くるりと向く P A N
(S E) ギユユユーン	(S E) シュバ——ン		ロジャー「行かせはしない！」			(S E) ズ・ズ——ン

3 74	3 73	372	3 71	3 70	369	3 68
アンカーの先端を巨大な黒い影がかっさらう	落下していくアンカー遠ざかるメカ	ガーンとなるロジャー	メカに近づくアンカーハサミを広げる 突如光弾入り、撃破する	アンカーをコントロールしているロジャー	見つめるドロシー	ドロシーに迫るアンカー マジックハンドが出る
		ロジャー「!!」	(SE) ドカーン!			(SE) ゴゴゴゴ (SE) ジャキーン

3 81	380	379	3 78	377	376	3 75
き ロジャー 焦りと不安と驚	対峙する二体 PANTU	驚愕のロジャー	フェイスガードが開き、顔が見える	鎖を引ききるデュオ TU	ひっぱられる巨大な鎖	ビッグオーなめ着陸するビ ッグデュオ
ロジャー「誰が…誰が動かしているんだ…」		ロジャー「ビッグデュオ!?!」				(SE) ズドーン

3 89	3 88	387	3 86	385	3 84	383	382
厚く積み重なった雲の峰 重い音が響いて来る	パラダイムシテイの遥か彼 方の砂漠 P A N	組んだ手の上に涙が落ちる	アレックス 後姿	蓄音機で音楽を聞いている	ゴードン邸パティオ アオリ 逆光のアレックス	遠ざかるビッグオー達	上昇して行くサソリメカ
(S E) ゴオオオオオオオオオオ ←			アレックス(悄)「パパ：愛していたよ。僕はあな たの息子に生まれて幸せだ：」 ←		(♪音楽) ← ← ←		

	3 90	
<p style="text-align: center;">「つづく」</p>	<p>密雲の中 多数の機影が現 れる</p>	
		<p style="text-align: center;">← ←</p>

